# 【情報公開文書】
# 「秋田県におけるクマ外傷の状況」に関する研究

## 1．研究の対象

令和3年4月1日から令和6年3月31日までの間に、秋田県内でクマに襲われて病院を受診された方

## 2．研究目的・方法

秋田県ではクマによる外傷が例年報告されていますが，令和5年度は全国的に見てもクマによる被害が多かったです．特に秋田県の被害は甚大であり，過去最多の70人が被害にあわれました．

クマに遭遇した際には，「うつぶせ首ガード法」と呼ばれる防御姿勢をとることが勧められています．これは，致命傷・重症となりうる顔面や頚部，体幹部の受傷を防ぐ目的でとられる姿勢です．我々は、実臨床において，クマと遭遇した際にうつぶせ首ガード法により重症化を防ぎえた症例を経験しました．ただし、この方法の有効性についてデータとして解析された報告はまだなく、実際の有効性について不明な点が多いです．

本研究は，令和3年度から令和5年度の秋田県のクマ外傷を対象とし，受傷状況と障害の種類・重症度を検討することで，「うつぶせ首ガード法」の有効性を検証するとともに，重症化を防ぐ手段を検討することです．

研究期間は研究実施許可日～2025年3月31日

利用を開始する予定日：研究実施許可日

## 3．研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、受傷日時、受傷時間帯、受傷状況、社会復帰の状況、傷害の重症度、受傷部位、診断名、入院日数、残存傷害、カルテ番号　等

## 4．外部への試料・情報の提供

個人情報を暗号化したうえで、秋田県生活環境部自然保護科鳥獣保護管理チームと特定の関係者以外がアクセスできない状態で共有を行います。秋田大学大学院医学系研究科整形外科学講座がデータセンターとして対照表ならびに情報を統括管理し、その他共同研究機関の病院へ情報の提供は行いません。

## 5．研究組織

【研究代表機関】

秋田大学大学院医学系研究科　整形外科学講座

大学院生　石垣　佑樹（研究代表者）

【共同研究機関】

秋田県生活環境部　自然保護科鳥獣保護管理チーム

ツキノワグマ被害対策支援センター主任　近藤　麻実　（研究責任者）

大館市立総合病院　整形外科　副診療局長　横山　徹　（研究責任者）

## ６．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

**照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先及び研究責任者：**

所属：秋田大学大学院医学系研究科　整形外科学講座

住所：秋田県秋田市本道 1-1-1

職名：大学院生

電話番号：018-884-6148

氏名：石垣　佑樹（研究代表者）